

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
平成11年6月28日 第13報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Microcystis wesenbergii</i> *	1		
(黄鞭) <i>Chromulina</i> sp.	10		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	29		
(珪) <i>Melosira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	59		
(珪) <i>Cyclotella</i> sp.	40		
(珪) <i>Stephanodiscus</i> sp.	10		
(珪) <i>Rhizosolenia longiseta</i>	10		
(珪) <i>Attheya Zachariasii</i>	10		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	260		
(珪) <i>Fragilaria capucina</i>	12		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	8		
(珪) <i>Synedra</i> sp.	10		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	20		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	40		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	340		
(緑) <i>Micractinium pusillum</i>	48		
(緑) <i>Dichotomococcus curvatus</i>	32		
(緑) <i>Ankistrodesmus falcatus</i> var. <i>mirabile</i>	20		
(緑) <i>Pediastrum tetras</i>	4		
(緑) <i>Pediastrum duplex</i>	7		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	32		
(緑) <i>Actinastrum hantzschii</i> var. <i>fluviatile</i>	170		
(緑) <i>Mougeotia</i> sp.	22		
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	3		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	1		
(緑) その他の緑藻	10		
(藍) 藍藻綱	1	0.1	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	10	0.8	0.3
(珪) 珪藻綱	468	38.7	22.3
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	380	31.5	11.5
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	349	28.9	65.9
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	1208	総体積	1.1E+06
種類数	26	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

動物プランクトン

第1優占種		個体数 (個体/l)
太陽虫類	<i>Acanthocystis chaetophora</i>	260

第2優占種		個体数 (個体/l)
輪虫類	<i>Polyarthra vulgaris</i>	240

*個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

植物プランクトン第1優占種



Rhodomonas sp.
(ロードモナス)
褐色鞭毛藻綱

細胞は、長楕円形で長さが約10 μm と小型であり、葉緑体は少し赤みを帯びている。2本の鞭毛を有する。

動物プランクトン第1優占種



Acanthocystis chaetophora
(アカントキスチス)
太陽虫類

体は球形で多くの偽足を放射状に出している。小型の太陽虫で軸足が非常に長いのが特徴である。

コメント:

植物プランクトンは、淡水赤潮の原因プランクトンであるウログレナの減少後、珪藻に属するフラギラリアが増加していたが、今週は本種もやや減少傾向を示し、これに変わり緑藻が増加傾向を示している。動物プランクトンは珪質の小片で体が覆われている太陽虫が優占種となった。本種は夏に多い種であり、種類組成も夏型の種類に変化してきている。